## 『民龍梅』 蔵便り

## 平成二十八年弥生





拝啓 寒さもようやく衰え始めた今日この頃ですが、皆様お元気でお過ごしでしょうか。





毎年この季節になると気になるのは興津清見寺境内の臥龍梅の開花状況です。今年も花の綻ぶ様を皆さんにご報告しようとカメラを片手に清見寺に出かけてまいりました。地元、静岡市では徳川家康公顕彰 400 年を記念して昨年からさまざまな行事が催されてまいりました。家康公とゆかりの深い清見寺は事あるごとにマスコミに取り上げられ、各種レセプションの会場として使われております。このところ観光客も増えており、案内係のボランテイアが立つ程です。いつの間にやら、境内の建築物には、日本語に加え英語、中国語、韓国語で表示された新しい案内板が設けられております。このお寺でちょっと変わっているのは、旧国道一号線(その昔の東海道です)に面した入口から 30 段ほど石段を登って総門と呼ばれる最初の門をくぐると、JR 東海道本線に行く手を阻まれることです。もちろんお寺の建立されたのは鉄道が敷設されるより遙か昔のことですので、後から東海道本線がお寺の境内を突っ切って造られ

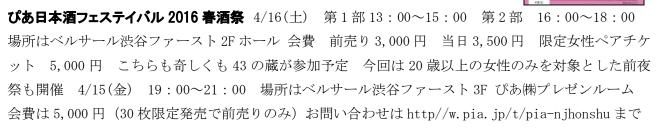
たのです。今でこそ皆さん新幹線で旅をされますが、かつては東海道を旅する人はすべて清見寺の境内を通っていたわけです。さて、鉄道を跨いで山門をくぐると中庭に臥龍梅が立っております。今年は残念ながらまだ可愛らしい蕾の状態でした。例年、3月の蔵便りには開花した写真を載せておりますので、今年は春の訪れが遅いのでしょうか。何しろ樹齢 400 年になんなんとする老木ですので、遅まきながら今年も咲くのが保証されたということで満足することにしました。新酒の上槽とともにさまざまなお酒の会が開かれてまいります。当社が参加する主だった会をご案内いたします。

## 和酒フェス東京@日テレ

3/19(土) 第1部12:15~14:30 第2部15:15~17:30 会費3,000円 日本テレビタワー1F 大屋根広場 第3回目となる今回はスケールアップして全 国から43の蔵が集結

和太鼓や津軽三味線、漫才コンビにほんしゅ、**2016** ミス日本酒等が会場を盛り上げてくれる予定です。

お問い合わせは和酒フェス実行委員会 Tm050-5582-6436 まで





さて、今月は昨年 11 月の発売時にお買い求めそこなった皆さんからのご要望にお応えして**五百万石 55%の純米吟醸 吊り雫酒を改めて**ご案内いたします。予定を変更して袋吊りいたしました。今回もごく少量の数量限定ですのでお見逃しなきよう!

早春の候、皆々様にはますますお元気で過ごされんことを。

敬具

平成28年3月吉日

鈴木 克昌